

令和8年度(2026年度)

第1回学校評価の結果と考察



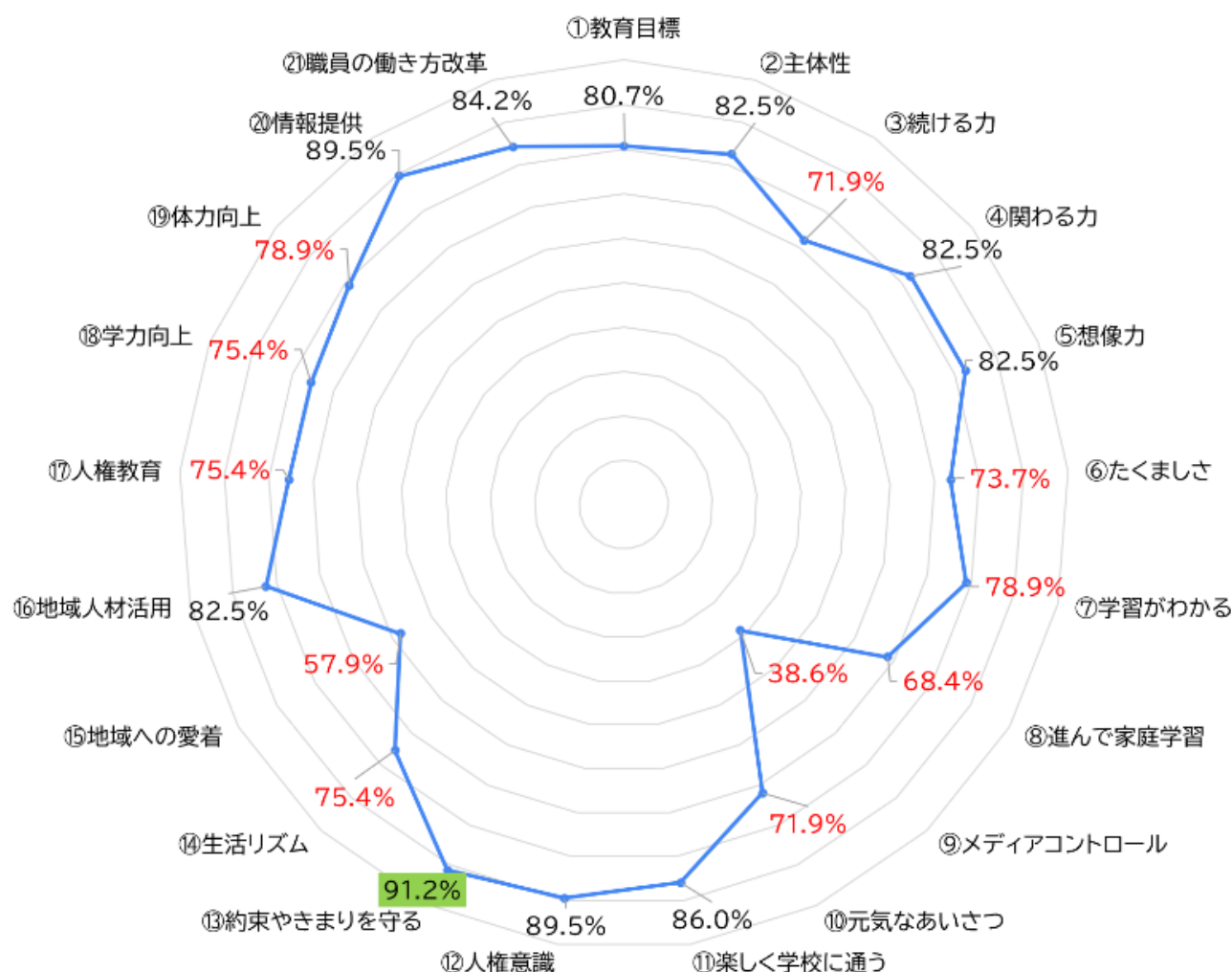
1	保護者の結果と考察・・・・・・・・・・	p 1～p 4
2	児童の結果と考察・・・・・・・・・・	p 5～p 6
3	学校運営協議会委員の結果と考察・・・・・・・・	p 7～p 10
4	教職員の結果と考察・・・・・・・・・・	p 11～p 14

1回目の学校評価アンケートありがとうございました。昨年度から2回の学校評価を実施することとしました。今回の結果を基に、夏休み明け以降、修正できるところを検討して教育活動に取り組んで参ります。

※グラフは、各質問項目において「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合を併せた数値となっていますので、低い項目は「どちらかといえばそう思わない」「思わない」「わからない」の数値が高いことを意味します。

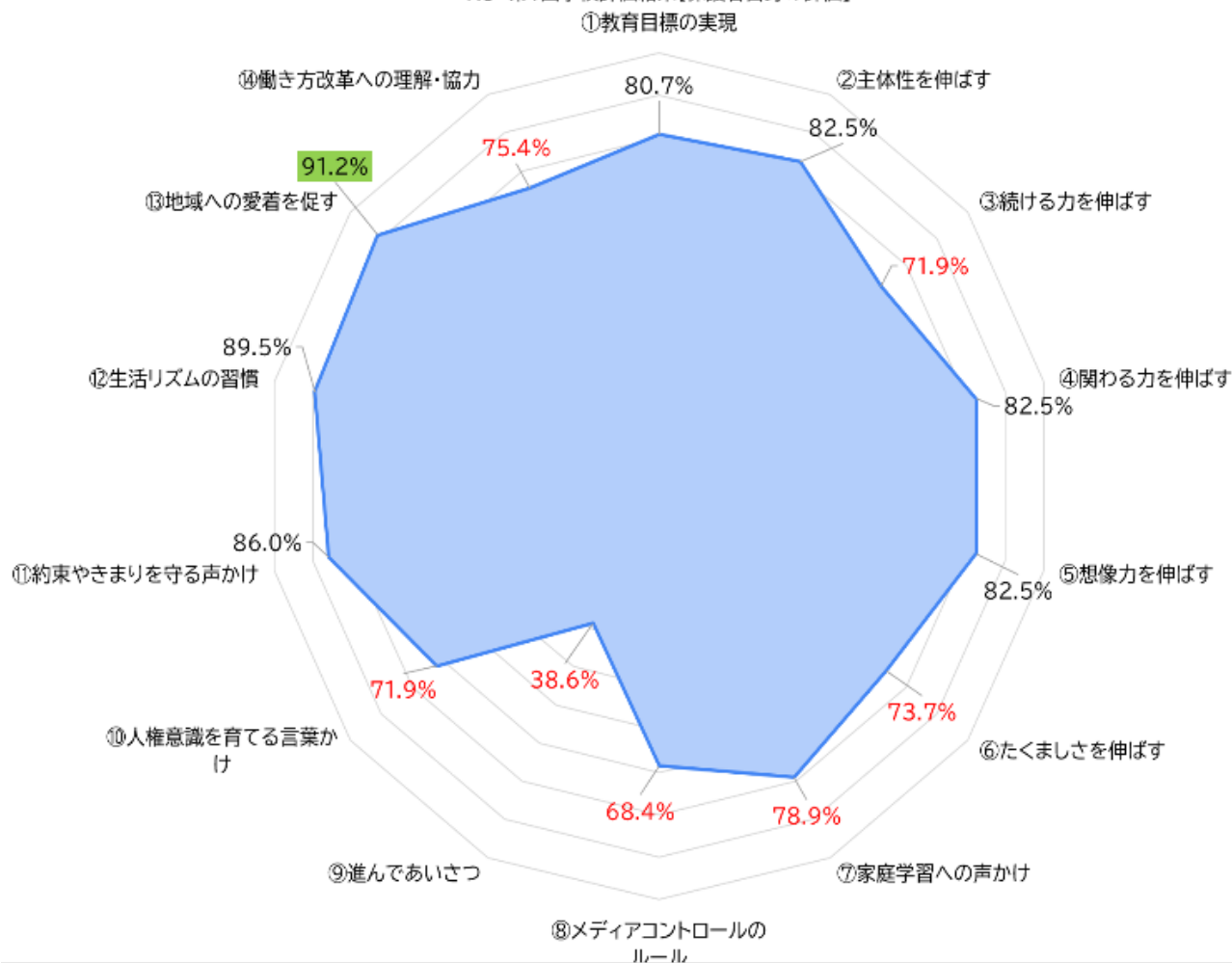
【保護者による評価】 回収率 52% ※12月は回収率7割以上の回答をお願いします。

R8 第1回学校評価結果【保護者から見た“子供や学校”の様子】



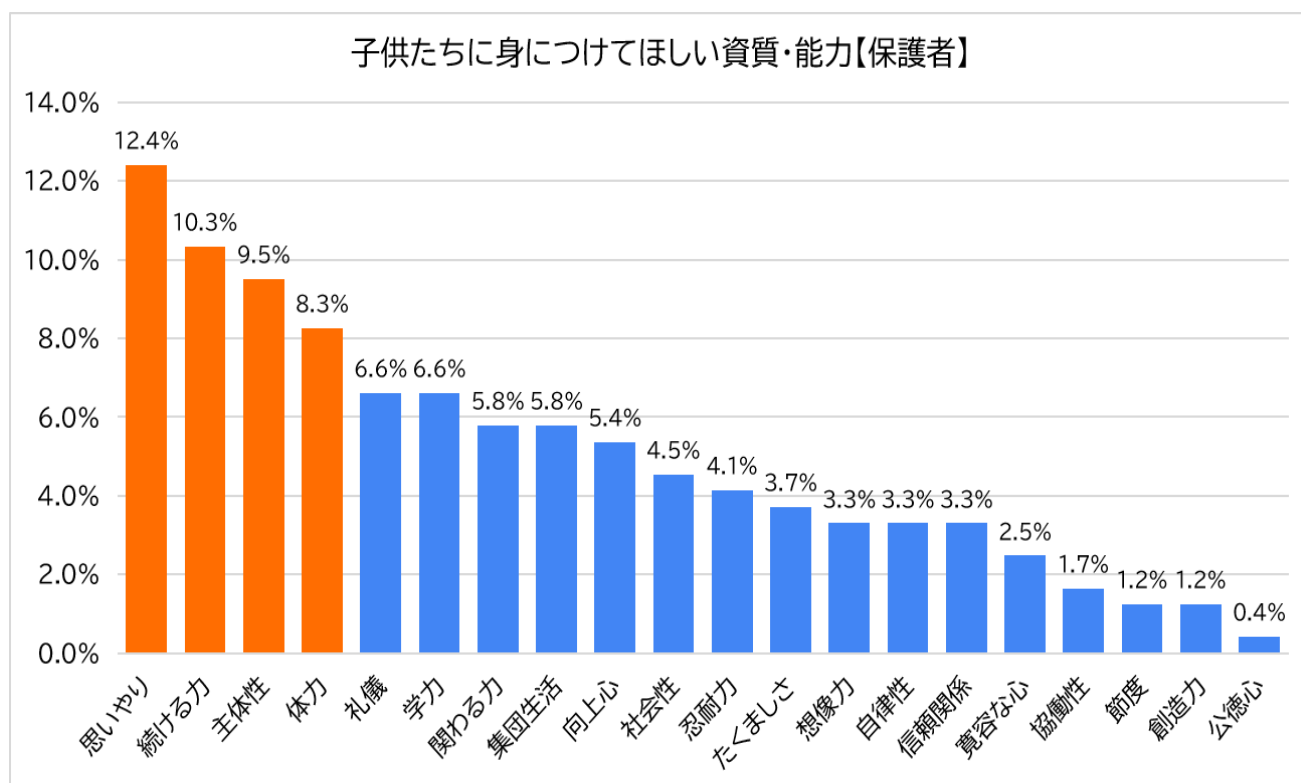
	質問事項	肯定的な回答割合
①	教育目標「全力でチャレンジし続け、友達と助け合いながら成長できる学校」になっていると思いますか。	80.7%
②	お子さんは「主体性」が身に付いていると思いますか。	82.5%
③	お子さんは「続ける力」が身に付いていると思いますか。	71.9%
④	お子さんは「関わる力」が身に付いていると思いますか。	82.5%
⑤	お子さんは「想像力」が身に付いていると思いますか。	82.5%
⑥	お子さんは「たくましさ」が身に付いていると思いますか。	73.7%
⑦	お子さんは「学習内容がわかる」と言っていますか。	78.9%
⑧	お子さんは、進んで宿題や家庭学習に取り組んでいますか。	68.4%
⑨	お子さんは、メディアの時間(スマホやテレビ、ゲームなど)をコントロールする力が身に付いていると思いますか。	38.6%
⑩	お子さんは、登下校や地域において、明るく元気なあいさつをしていると思いますか。	71.9%
⑪	お子さんは、楽しく学校に通うことができますか。	86.0%
⑫	お子さんは、いじめを許さないなどの人権意識が育っていると思いますか。	89.5%
⑬	お子さんは、約束やきまり(地域における交通ルールや帰宅時刻、公園などでの遊び方等)が守れていると思いますか。	91.2%
⑭	お子さんは、生活リズム(早寝・早起き・朝ご飯)の習慣が身に付いていると思いますか。	75.4%
⑮	お子さんは、地域とのつながり(地域での行事や活動等)を通して、地域への愛着が身に付いていると思いますか。	57.9%
⑯	桜山小は、子供たちの良さを伸ばすために、学校運営協議会や地域人材を活用した取組に力を入れていると思いますか。	82.5%
⑰	桜山小は、いじめや差別をなくすために、人権教育や心の教育に力を入れていると思いますか。	75.4%
⑱	桜山小は、学力を伸ばすために授業や個別指導などを工夫して行っていると思いますか。	75.4%
⑲	桜山小は、体力や健康面を考えた取組を工夫して行っていると思いますか。	78.9%
⑳	桜山小は、学校や学級の様子及びお知らせ(学校だより・ホームページ・学級通信・安心メール等)を適切に伝えていると思いますか。	89.5%
㉑	桜山小は、職員の働き方改革に向けて業務改善や家庭・地域の理解が進んでいると思いますか。	84.2%

R8 第1回学校評価結果【保護者自身の評価】



	質問事項	肯定的な回答割合
①	あなたは、教育目標「全力でチャレンジし続け、友達と助け合いながら成長できる学校」の実現に向けて家庭でも意識した取組をしていますか。	80.7%
②	あなたは、お子さんの「主体性」を伸ばすために、家庭でも意識した取組をしていますか。	82.5%
③	あなたは、お子さんの「続ける力」を伸ばすために、家庭でも意識した取組をしていますか。	71.9%
④	あなたは、お子さんの「関わる力」を伸ばすために、家庭でも意識した取組をしていますか。	82.5%
⑤	あなたは、お子さんの「想像力」を伸ばすために、家庭でも意識した取組をしていますか。	82.5%
⑥	あなたは、お子さんの「たくましさ」を伸ばすために、家庭でも意識した取組をしていますか。	73.7%
⑦	あなたは、お子さんが進んで宿題や家庭学習に取り組むような声かけをしていますか。	78.9%
⑧	あなたは、お子さんのメディアの時間(スマホやテレビ、ゲームなど)をコントロールする力が身に付くようなルールを話し合って決めていますか。	68.4%
⑨	あなたは、自分から進んでお子さんに明るく元気なあいさつをしていますか。	38.6%
⑩	あなたは、お子さんに対して、いじめを許さないなどの人権意識を育てる言葉かけなどをしていますか。	71.9%
⑪	あなたは、お子さんが約束やきまり(地域における交通ルールや帰宅時刻、公園などでの遊び方等)を守るような声かけをしていますか。	86.0%
⑫	あなたは、お子さんの生活リズム(早寝・早起き・朝ご飯)の習慣が身に付くように、声かけをしていますか。	89.5%
⑬	あなたは、お子さんの地域への愛着を身につけるために、地域とのつながり(地域での行事や活動等)への参加を促すなどの声かけをしていますか。	91.2%
⑭	桜山小の働き方改革に向けた業務改善について、理解・協力をしていますか。	75.4%

学校運営や子供の成長において当事者意識を持っていただくために、昨年度から保護者自身の評価も実施しました。12月に2回目を実施しますので、自分事として実践をされてみてください。



【子供たちに身に付けてほしい資質・能力について】

- ・現在掲げている5つの資質・能力の内、「続ける力」と「主体性」が上位に入っています。最も多かったのは「思いやり」でした。この他「体力」も課題と捉えられている方が多いようです。
- ・「思いやり」については、昨年度も多く挙げられていました。本年度「想像力」という資質・能力に含めて取り組んでいます。引き続き相手に対する「思いやり」を持てるように取り組んでいきたいと思ひます。

【学校教育目標等に関する内容 問1～問6】

- ▲ 「続ける力」「たくましさ」において8割に満たない評価でした。子供たちは「続ける力」において肯定する回答が多かったこととの「ずれ」も気になるところです。また、「たくましさ」においては、「体力」の項目とも関連するのですが、心のたくましさも含めて高めていく必要があると思ひます。
- ▲ 本年度掲げた資質・能力は、昨年度の学校評価（保護者、全職員、学校運営協議会）や子供たちの意見を基に設定したものです。学校でも意識して取り組みますので、ご家庭でもこれらの力が高まるようなご協力（声かけや手立て）をお願いします。

【学習に関する内容 問7～問8】

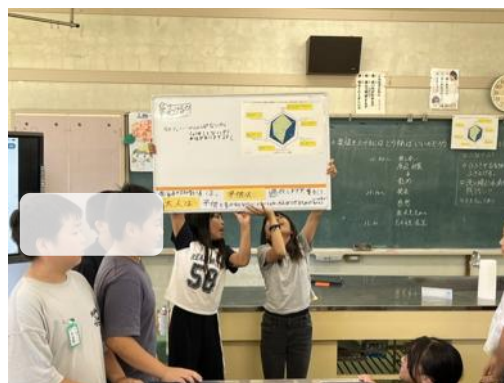
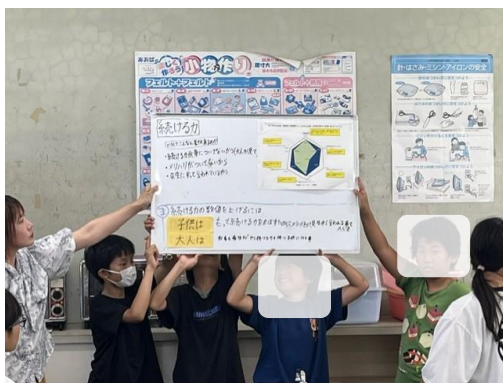
- ▲ 「家庭学習」は、昨年同様低い結果でした。4月から新しい教育用タブレットも導入され、個に応じたAIドリルにも取り組んでいってほしいと思ひます。また、学習内容がわかることについては、授業及び個別指導等への改善を図って参ります。

【子供さんの様子や家庭生活及び地域とのつながりに関する内容 問9～問15】

- 昨年同様「楽しく登校する」「人権意識が育っている」「きまりを守っている」の項目が高い評価だったことに感謝いたします。しかし、少数ながら否定的な回答があることから目を背けず「誰一人取り残さない教育活動」を心がけていきます。
- ▲ 「メディアコントロール」「地域への愛着」が低い評価でした。「メディアコントロール」については、子供たちの自己評価でも低く、これによる弊害が様々な点で起きていることに大きな課題があると考えています。先日学校だよりでもお伝えしましたが、ご家庭内で今一度、使用する際のルールなど話し合われますようお願いいたします。この項目の向上により、生活リズムや家庭学習の習慣化にも好影響が見込まれます。また、「地域への愛着」については、子供たちとの乖離が大きい項目です。地域の方と一緒に取組む「防災実践」「クリーン作戦」「げんき祭り」など本校独自の取組を通して、20～30年後の地域を担う人材育成に取り組んでいることをご理解ください。

【桜山小の取組に関する内容 問16～問21】

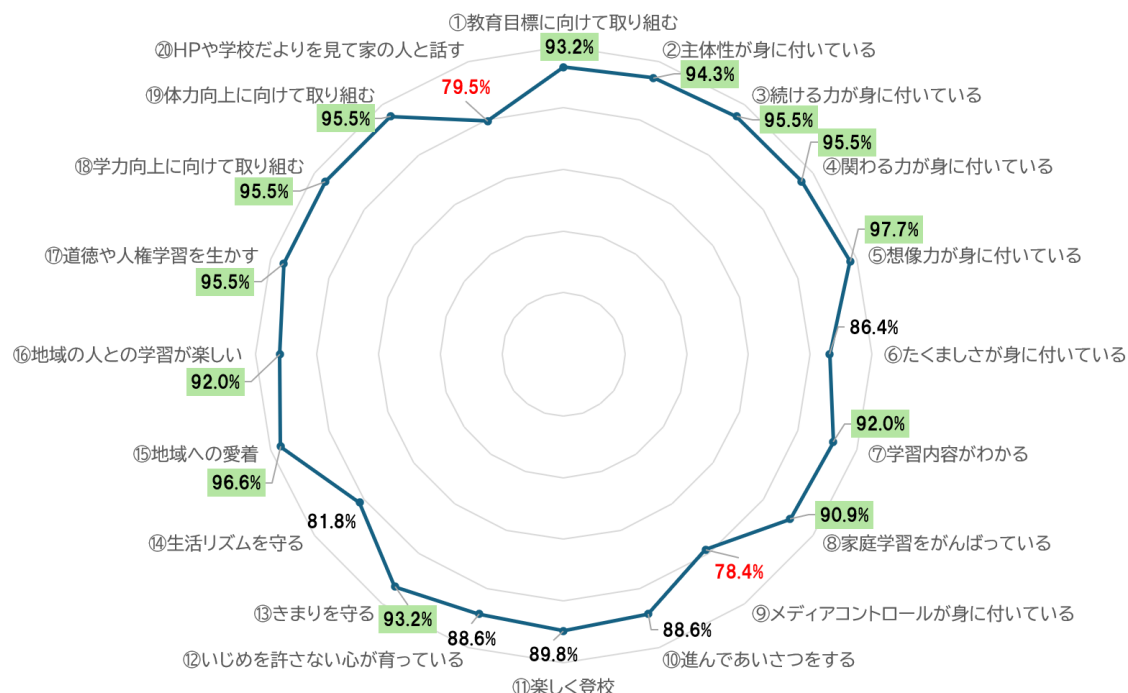
- ▲ 「人権教育」学力の向上」「体力の向上」について低い結果でした。昨年度最後の授業参観でご覧いただいた“あらおベーシック”の授業スタイル（受け身になって学ぶのではなく、自分たちで学習を進め、学びを深めていく）で授業改善を進めています。これに加えて、AIドリルを積極的に活用することで個に応じた基礎学力の向上を図っています。家庭でも取り組むことができますので、前述した家庭学習の習慣化の一環としてご協力をお願いします。また、人権教育については、人権学習で学んだことを実践に生かせるよう、引き続き全ての教育活動の基盤に据えて取り組んでいきます。
- 「情報提供」について高い評価をいただいています。これまでも日頃の子供たちの様子を学校ホームページや学校だよりを通じてお伝えしてきましたが、本年度は学校用インスタグラムでもタイムリーな話題を提供できるようにしました。これらの情報を基に、ご家族で話題にさせていただきますようお願いいたします。「職員の働き方改革」につきましては、子供たちに良質な教育を提供することが最上位の目的です。そのためには、職員が心身共に健康な生活を保障することが大切です。教員不足の中、教育の質を落とさない様々な工夫改善に対して、引き続きご理解をお願いします。



第2回学校運営協議会で5，6年生の子供も交えて熟議したことを発表する様子

【児童による評価】

第1回学校評価結果【児童の評価(全学年)】



	質問事項	肯定的な回答割合
①	「全力チャレンジ 助け合い 支え合い」に向けた取組ができていると思いますか。	93.2%
②	「主体性」は身についていると思いますか。	94.3%
③	「続ける力」が身についていると思いますか。	95.5%
④	「関わる力」が身についていると思いますか。	95.5%
⑤	「想像力」が身についていると思いますか。	97.7%
⑥	「たくましさ」が身についていると思いますか。	86.4%
⑦	学校の授業（学習内容）はわかりますか。	92.0%
⑧	宿題や家庭学習を工夫してがんばっていますか。	90.9%
⑨	メディアの時間（スマホやテレビ、ゲームなど）をコントロールする力が身についていると思いますか。	78.4%
⑩	自分から（学校、家、地域で）明るく元気なあいさつをすることができますか。	88.6%
⑪	楽しく学校に通うことができますか。	89.8%
⑫	友達をからかったり、いじめたりすることを許さない心が身についていますか。	88.6%
⑬	学校や家、地域（公園など）での約束やきまり（交通ルールも）を守った生活ができますか。	93.2%
⑭	生活リズム（早寝・早起き・朝ご飯）は守れていますか。	81.8%
⑮	地域とのつながり（地域での行事や活動等）を通して、桜山の校区や荒尾市のことを大切にしたいと思いますか。	96.6%
⑯	地域の人たちと一緒に学習や活動することは楽しいですか。	92.0%
⑰	いじめや差別をなくために、道徳や人権学習で学んだことをいかして生活していますか。	95.5%
⑱	自分の学力をのばすためにせっきよくてきに授業に参加したり、家庭学習に取り組んだりしていますか。	95.5%
⑲	体力の向上や健康面を考えた生活をおくっていますか。	95.5%
⑳	学校だよりや学級通信、ホームページを見て、おうちのひとと話題にしたりしていますか。	79.5%

【学校教育目標等に関する内容 問1～問6】

- 学校教育目標に向けた取組や5つの資質・能力（主体性、続ける力、関わる力、想像力、たくましさ）が身につけていることを肯定的に捉えている子供が多いことは大変喜ばしいと思います。ただし、学年差もあり、手放して喜べないと考えています。それぞれの資質・能力を具体的な姿で示すだけでなく、学年の実態に応じた取組を引き続き進めて参ります。
- ▲ 保護者や教職員の回答と比較すると、大人の受け止めとの「ずれ」があります。このことを第2回学校運営協議会でも高学年の子供たちと一緒に話し合いをしたところです。子供たちも、この「ずれ」に対して「もっと大人に理解してもらえようにしたい」といった感想を述べていました。

【学習に関する内容 問7～問8】

- 「授業（学習内容）がわかる」と答えている子供は、92%であり非常に高い数値です。しかしながら、「わかったつもり」で終わらないように定着させていくための手立て「友達に教えられるようになる」「自分で問題を作ることができるようになる」といったことが必要です。もっと子供たちが学びに対して積極的かつ主体的になれる手立てを行うことで、否定的な回答をしていた少数の子供たちを「誰一人取り残さない学びの保障」につなげて参ります。

【生活及び自分自身のことに関する内容 問9～問14】

- 「楽しく学校に通うことができる」という項目について、約90%の肯定的な回答でした。子供たちには「学校は楽しいところではなく、自分たちで楽しくしていくところ」と伝えていますが、昨年度の心のアンケートではこの質問項目の結果は約97%であり微減していることに危機意識を持っています。約1割の否定的な回答をしている子供たちがいることに目を向け、安心・安全な学校づくりを子供たちと進めて参ります。
- ▲ 「友達をからかったり、いじめたりすることを許さない心が身についていますか。」という問いに対して、昨年度から5ポイント下がってしまいました。前述の約1割の子供たちのこともありますので、今後もいじめを含め、部落差別を始めとする様々な差別問題は、差別する側の問題であることを実践行動に移せるようにしていきます。
- ▲ メディアコントロールについては保護者同様低い結果でした。このことにつきましては、学校でも全体指導を進めて参りますが、学校だよりNo.7にも掲載していましたように、今一度各家庭で話し合いのもとルール作りをお願いします。

【地域とのつながりや学んだことを生かそうとすることに関する内容 問15～問19】

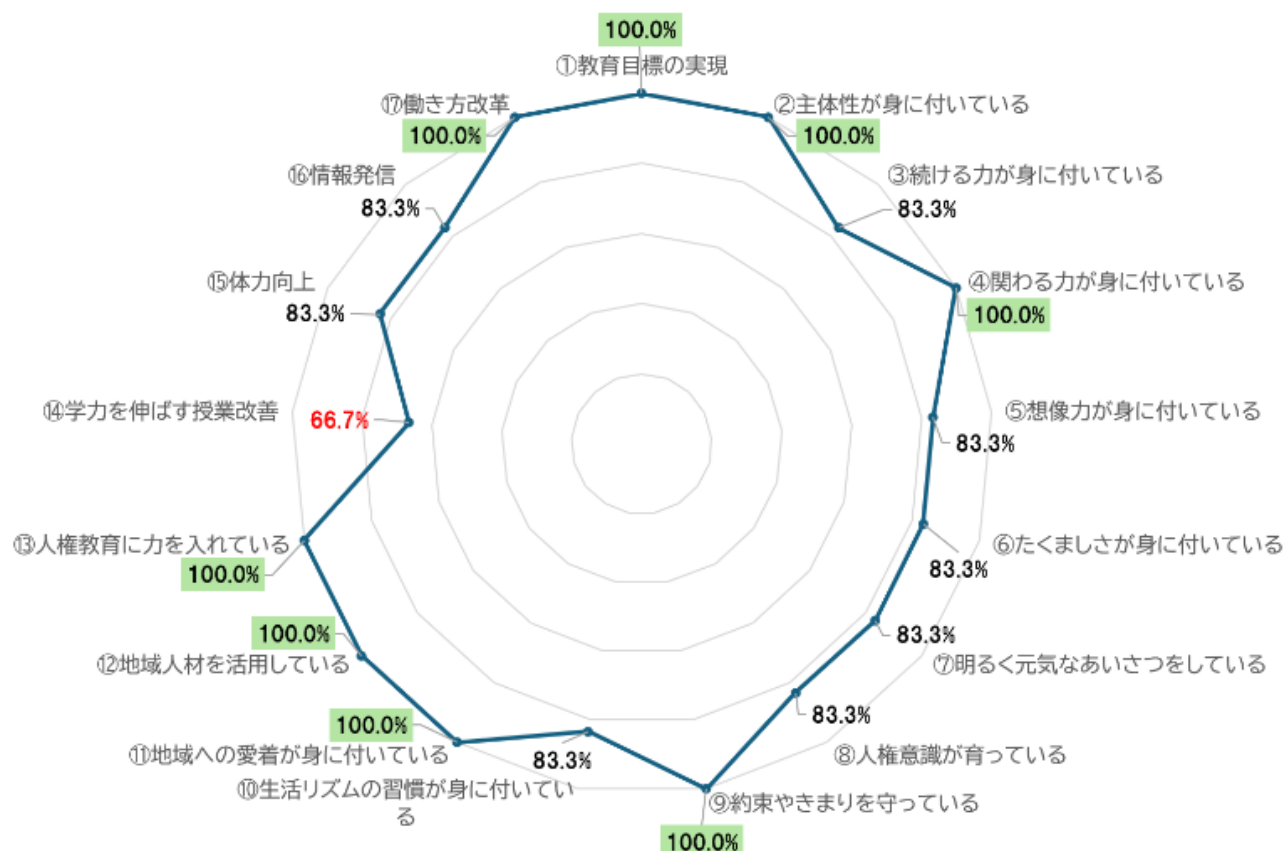
- 保護者の評価では高くなかった「問15や問16」の回答は90%を超えています。各学年では、積極的に地域の教育力を導入し、地域と一体となった防災実践やクリーン作戦などを通して、地域愛が醸成されていると考えられます。
- 「道徳や人権学習を生かす」項目も高いのですが、真の実践行動につながる力を引き続き高めていきます。

【学校からのお知らせを家族と共有することに関する内容 問20】

- ▲ 学校の情報（HPや学校だより等）について、家の人と話すことが少ないようです。今後も話題を提供して参りますので、是非話題にさせていただきますようお願いいたします。

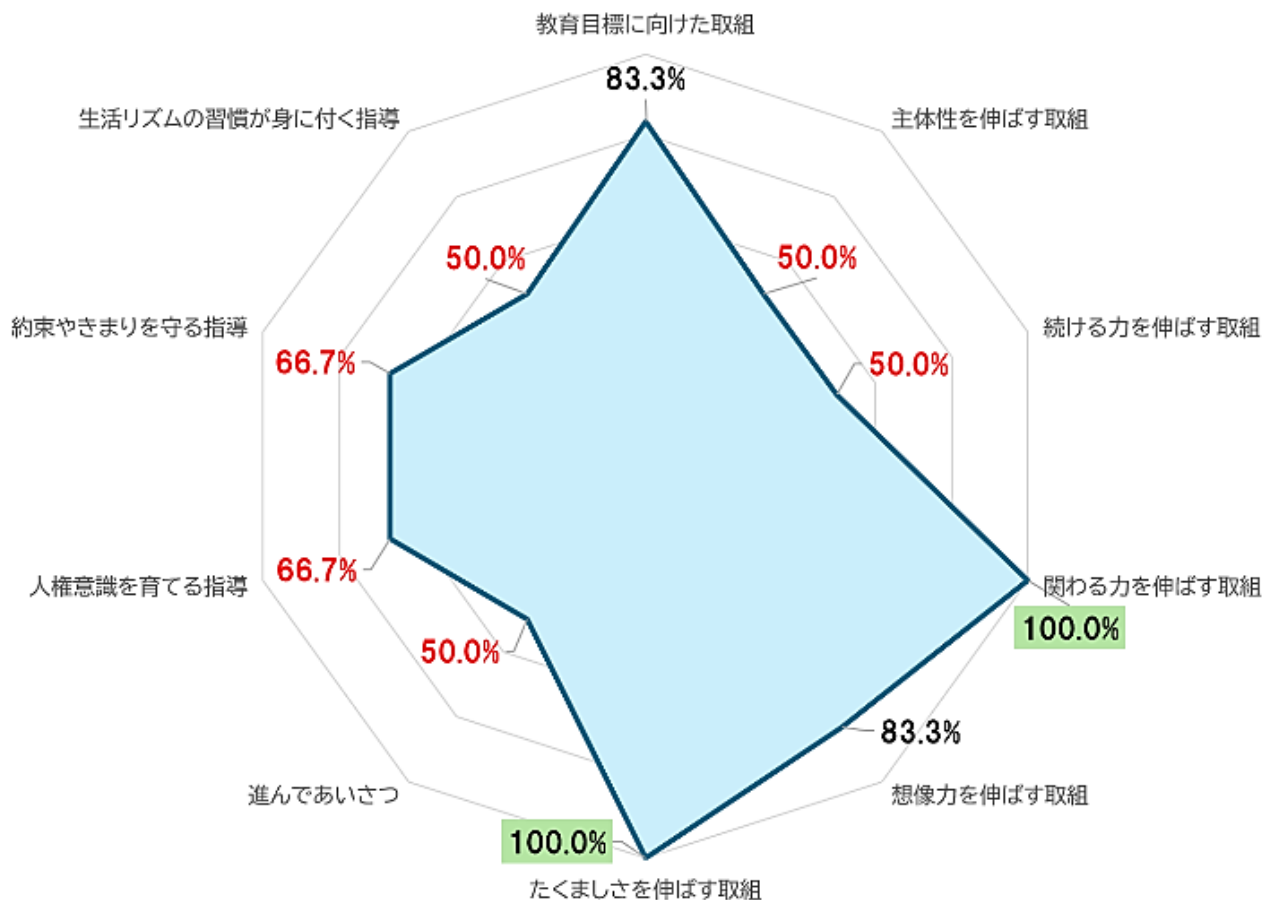
【学校運営協議会委員による評価】

第1回学校評価結果【学校運営協議会委員から見た“子供や学校”の様子】



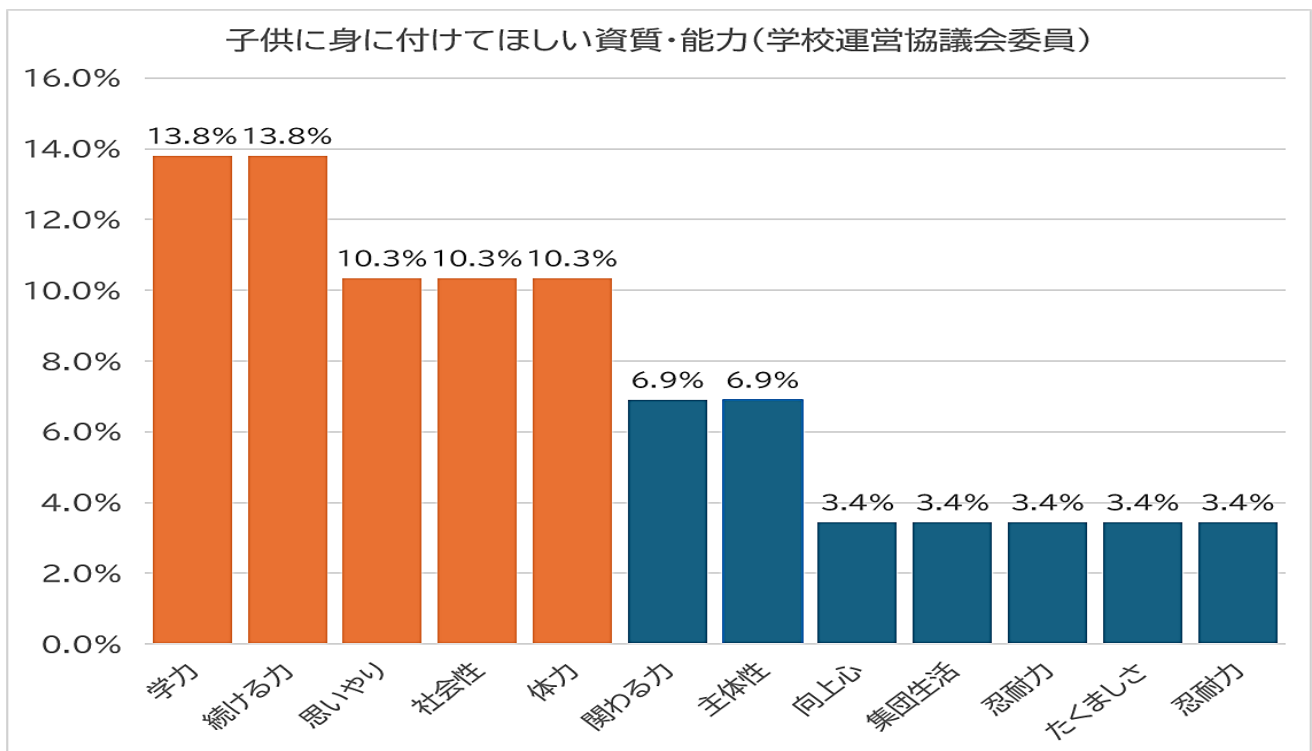
	質問事項	肯定的な回答割合
①	教育目標「全力でチャレンジし続け、友達と助け合いながら成長できる学校」になっていると思いますか。	100.0%
②	子供たちは「主体性」が身に付いていると思いますか。	100.0%
③	子供たちは「続ける力」が身に付いていると思いますか。	83.3%
④	子供たちは「関わる力」が身に付いていると思いますか。	100.0%
⑤	子供たちは「想像力」が身に付いていると思いますか。	83.3%
⑥	子供たちは「たくましさ」が身に付いていると思いますか。	83.3%
⑦	子供たちは、登下校時や放課後など、地域において明るく元気なあいさつをしていると思いますか。	83.3%
⑧	子供たちは、いじめを許さないなどの人権意識が育っていると思いますか。	83.3%
⑨	子供たちは、約束やきまり(地域における交通ルールや帰宅時刻、公園などでの遊び方等)が守れていると思いますか。	100.0%
⑩	子供たちは、生活リズム(早寝・早起き・朝ご飯)の習慣が身に付いていると思いますか。	83.3%
⑪	子供たちは、地域とのつながり(地域での行事や活動等)を通して、地域への愛着が身に付いていると思いますか。	100.0%
⑫	桜山小は、子供たちの良さを伸ばすために、学校運営協議会や地域人材を活用した取組に力を入れていると思いますか。	100.0%
⑫	桜山小は、いじめや差別をなくすために、人権教育や心の教育に力を入れていると思いますか。	100.0%
⑫	桜山小は、学力を伸ばすために授業や個別指導などを工夫して行っていると思いますか。	66.7%
⑬	桜山小は、体力や健康面を考えた取組を工夫して行っていると思いますか。	83.3%
⑭	桜山小は、学校や学級の様子及びお知らせ(学校だより・ホームページ・学級通信・安心メール等で)を適切に伝えていると思いますか。	83.3%
⑮	桜山小は、職員の働き方改革に向けて業務改善や家庭・地域の理解が進んでいると思いますか。	100.0%

第1回学校評価結果【学校運営協議会委員自身の評価】



	質問事項	肯定的な回答割合
①	あなたは、教育目標「全力でチャレンジ続け、友達と助け合いながら成長できる学校」の実現に向けた提案又は協力ができていますか。	83.3%
②	あなたは、子供たちの「主体性」を伸ばすための提案又は協力ができていますか。	50.0%
③	あなたは、子供たちの「続ける力」を伸ばすための提案又は協力ができていますか。	50.0%
④	あなたは、子供たちの「関わる力」を伸ばすための提案又は協力ができていますか。	100.0%
⑤	あなたは、子供たちの「想像力」を伸ばすための提案又は協力ができていますか。	83.3%
⑥	あなたは、子供たちの「たくましさ」を伸ばすための提案又は協力ができていますか。	100.0%
⑥	あなたは、自分から進んで登下校時や放課後など、子供たちに明るく元気なあいさつをしていますか。	50.0%
⑥	あなたは、子供たちに対して、いじめを許さないなどの人権意識を育てる言葉かけなどを行っていますか。	66.7%
⑦	あなたは、子供たちが約束やきまり(地域における交通ルールや帰宅時刻、公園などでの遊び方等)を守るような声かけをしていますか。	66.7%
⑧	あなたは、子供たちの生活リズム(早寝・早起き・朝ご飯)の習慣が身に付くように、家庭への声かけや啓発等の提案又は協力ができていますか。	50.0%
⑨	あなたは、子供たちに対して、地域とのつながり(地域での行事や活動等)を通して、地域への愛着を身につける提案又は協力ができていますか。	66.7%
⑩	桜山小の働き方改革に向けた業務改善や家庭・地域理解に向けて、提案又は協力ができていますか。	66.7%

学校運営や子供の成長において当事者意識を持っていただくために、本年度から運営協議会委員自身の評価も実施しました。12月に2回目を実施しますので、自分事として実践をされてみてください。



【子供たちに身に付けてほしい資質・能力について】

- ・現在掲げている5つの資質・能力の内「続ける力」が「学力」と同率で1位でした。この他「思いやり」「社会性」「体力」が入っており、保護者や教職員と違った視点でした。
- ・学校における最重要ミッションは、子供たちが未来を切り拓くための「学力保障」であり、やり続けることができる「心身両面での体力（耐力）」ですので、こういったご意見も参考にしていきます。

【学校教育目標等に関する内容 問1～問6】

- 昨年度、子供たちと一緒に熟議を重ねて、教育目標の素案や資質・能力に関する具体的な姿について話し合っていました。同じ視点で子供たちの成長の様子をご覧になった結果が表れているかと思います。今後も引き続きともに子供たちを育てていきましょう。

【子供たちの生活や規範意識、地域愛の育成に関する内容 問7～問11】

- 8割未満の項目はありませんでした。日頃から子供たちとの関わりが増えてきたことで、子供たちもあいさつを交わす機会が増えたのかもしれません。また、地域とのコラボ事業を通して、確実に子供たちは地域への愛着が増していることを実感として感じられている結果が出ているのだと思います。

【桜山小の教育活動に関する内容 問12～問17】

- 学校運営協議会をはじめとする地域力活用、学校における人権教育、学校の広報活動において高い評価をいただきました。本校では地域とのつながりを重視し、地域と一体となった取組を教育課程に位置づけて多数行ってきた成果だと思います。

○ 「働き方改革」につきましては、最上位の目的は、子供たちに質の高い教育を提供していくことです。そのためには、職員が心身共に健康な生活を心がけることが重要であり、保護者や地域住民の理解も必要になってきますので、今後ご理解、ご協力、そして周囲への周知をお願いします。

▲ 「学力向上対策」につきましては、授業を何度か見ていただいたと思いますが、授業改善を第一の柱としつつも、一人一人の学力に応じた基礎学力の定着も急務だと考えています。そういう意味では、個別の学力に応じてA Iが判断し、適切な問題を提示・採点までしてくれるA Iドリルを積極的に活用していきたいと思っています。

【学校運営協議会委員ご自身の評価について】

法に基づく学校運営協議会制度において、本協議会委員の役割の1つとして、子供たちを育むために学校運営を担っていただくことがあげられます。年間5回の協議会はもちろん、機会ある毎に学校においていただき、子供たちの様子を見て、それぞれの立場から学校教育目標や資質・能力の具現化に向けて取り組んでいけるようにして参ります。

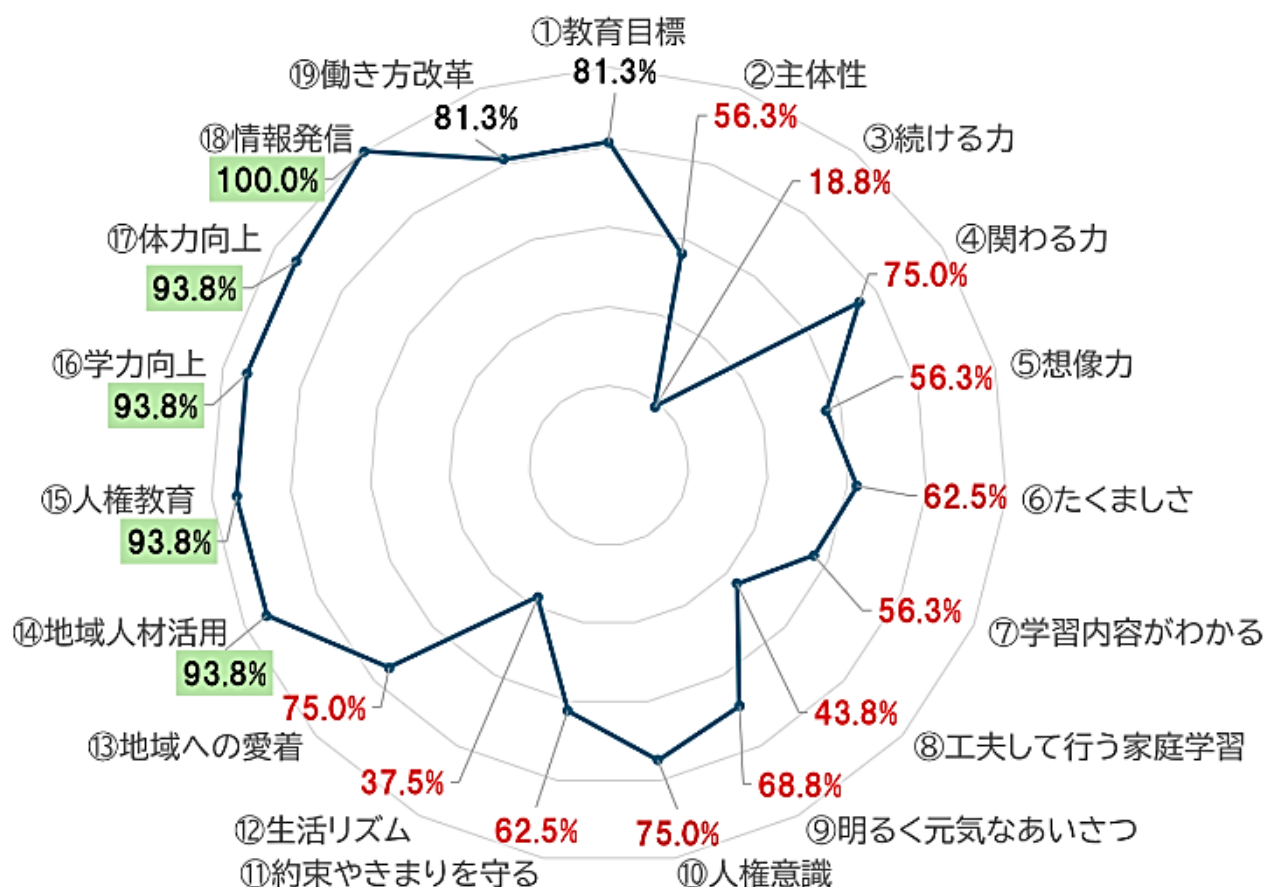
【先日の学校運営協議会(「続ける力」のズレをなくすため)で出された主なご意見】

- ・子供は親と一緒に目標を作る。大人は子供と作った目標に向き合う。
- ・大人は子供がやっていることを確認する。大人は子供と昔の自分を比べてアドバイスやがんばらせるためのルールなどを作る。
- ・先生に伝わるように、子供も自分たちで口に出して伝える。
- ・子供はメリハリをつけて、先生たちから言われて行動することを減らす。
- ・大人と子供の評価基準のずれがあったのではないかな。どのような基準で評価をするのかも課題だろう。子供だけでなく「環境」を用意することも必要。
- ・話し合いの中で集中できない子供の姿があって、今回の結果にも納得したところがあった。主体性や自律性も必要ではないか。
- ・最近はアクティブな学びが主流のため、子供たちの集中する時間が少なくなっているのかも。子供たちは自分たちの目標を親と共有することを求めているのではないかな。



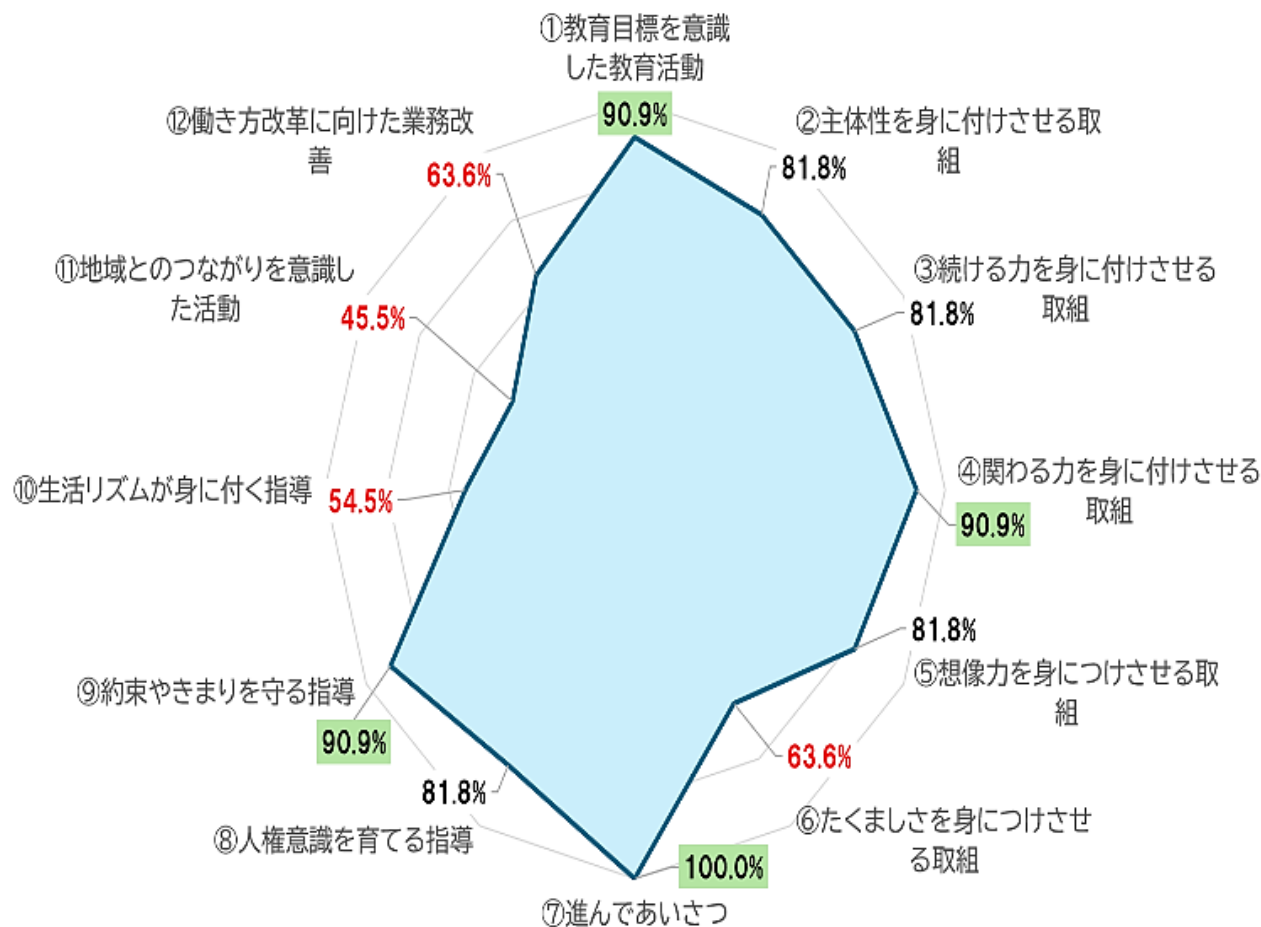
第2回学校運営協議会で5，6年生の子供も交えて学校評価結果について熟議をする様子

第1回学校評価結果【教職員から見た“子供や学校”の様子】



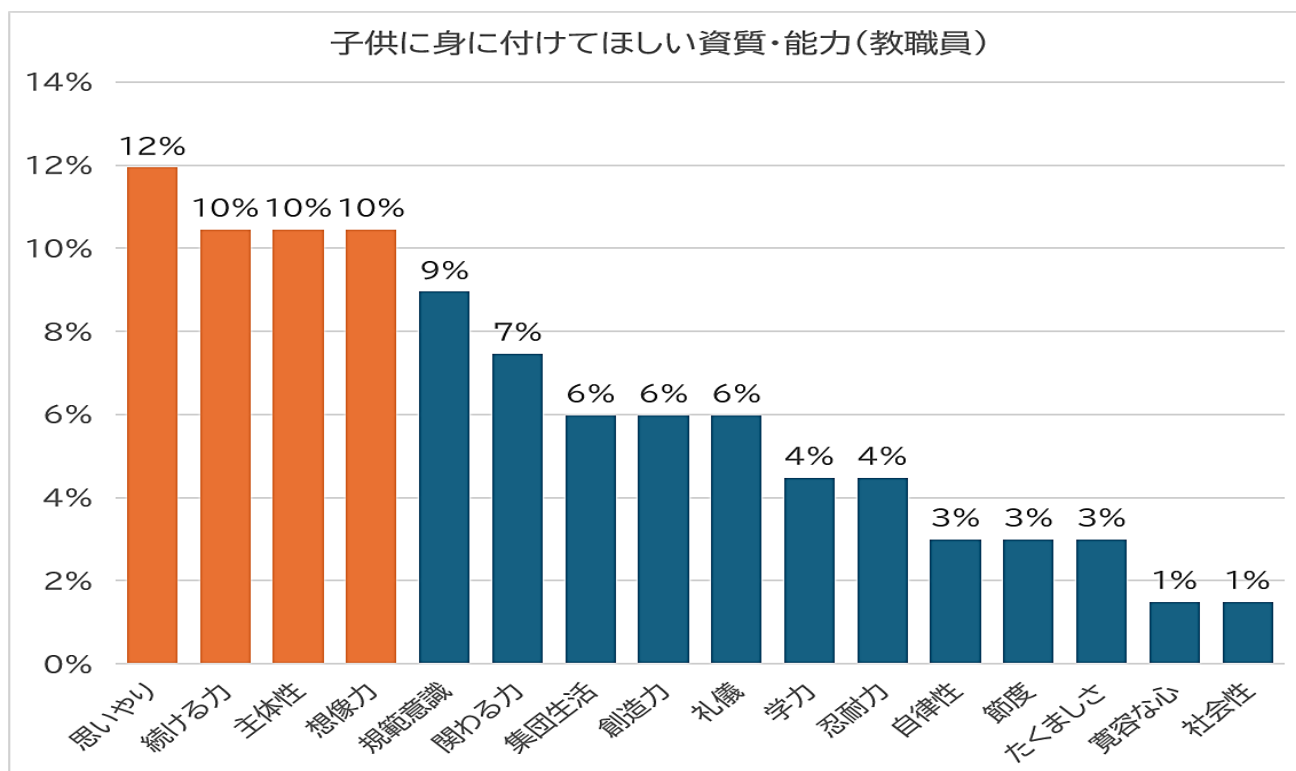
	質問事項	肯定的な回答割合
①	教育目標「全力でチャレンジし続け、友達と助け合いながら成長できる学校」になっていると思いますか。	81.3%
②	子供たちは「主体性」が身に付いていると思いますか。	56.3%
③	子供たちは「続ける力」が身に付いていると思いますか。	18.8%
④	子供たちは「関わる力」が身に付いていると思いますか。	75.0%
⑤	子供たちは「想像力」が身に付いていると思いますか。	56.3%
⑥	子供たちは「たくましさ」が身に付いていると思いますか。	62.5%
⑦	子供たちは、「学習内容がわかる」と思いますか。	56.3%
⑧	子供たちが工夫して取り組むような家庭学習を出していますか。	43.8%
⑨	子供たちは、明るく元気なあいさつ(校内外含む)をしていると思いますか。	68.8%
⑩	子供たちは、いじめを許さないなどの人権意識が育っていると思いますか。	75.0%
⑪	子供たちは、約束やきまり(地域における交通ルールや帰宅時刻、公園などでの遊び方等)が守れていると思いますか。	62.5%
⑫	子供たちは、生活リズム(早寝・早起き・朝ご飯)の習慣が身に付いていると思いますか。	37.5%
⑬	子供たちは、地域とのつながり(地域での行事や活動等)を通して、地域への愛着が身に付いていると思いますか。	75.0%
⑭	桜山小は、子供たちの良さを伸ばすために、学校運営協議会や地域人材を活用した取組に力を入れていると思いますか。	93.8%
⑮	桜山小は、いじめや差別をなくすために、人権教育や心の教育に力を入れていると思いますか。	93.8%
⑯	桜山小は、学力を伸ばすための授業改善や個別指導などを工夫して行っていると思いますか。	93.8%
⑰	桜山小は、体力や健康面を考えた取組を工夫して行っていると思いますか。	93.8%
⑱	桜山小は、学校や学級の様子及びお知らせ(学校だより・ホームページ・学級通信・安心メール等)を適切に伝えていると思いますか。	100.0%
⑲	桜山小は、職員の働き方改革に向けて業務改善や家庭・地域の理解が進んでいると思いますか。	81.3%

第1回学校評価結果【教職員自身の評価】



	質問事項	肯定的な回答割合
①	あなたは、教育目標「全力でチャレンジ続け、友達と助け合いながら成長できる学校」の実現に向けた教育活動に取り組んでいますか。	90.9%
②	あなたは、子供たちの「主体性」を伸ばすために、意識した取組をしていますか。	81.8%
③	あなたは、子供たちの「続ける力」を伸ばすために、意識した取組をしていますか。	81.8%
④	あなたは、子供たちの「関わる力」を伸ばすために、意識した取組をしていますか。	90.9%
⑤	あなたは、子供たちの「想像力」を伸ばすために、意識した取組をしていますか。	81.8%
⑥	あなたは、子供たちの「たくましさ」を伸ばすために、意識した取組をしていますか。	63.8%
⑦	あなたは、自分から進んで子供たちに明るく元気なあいさつをしていますか。	100.0%
⑧	あなたは、子供たちに対して、いじめを許さないなどの人権意識を育てる指導や言葉かけなどをしていますか。	81.8%
⑨	あなたは、子供たちが約束やきまり(地域における交通ルールや帰宅時刻、公園などでの遊び方等)を守るような指導や声かけをしていますか。	90.9%
⑩	あなたは、子供たちの生活リズム(早寝・早起き・朝ご飯)の習慣が身に付くように、指導や声かけをしていますか。	54.5%
⑪	あなたは、子供たちが地域への愛着を身につけるために、地域とのつながりなどを意識した教育活動を取り入れていますか。	45.5%
⑫	働き方改革に向けた業務改善について心がけていますか。	63.6%

学校教育目標や身につけてほしい資質・能力の実現に向けて、当事者意識を持つために、教職員自身の評価も実施しました。自分事として学校運営に参画していきましょう。



【子供たちに身に付けてほしい資質・能力について】

- ・現在掲げている5つの資質・能力の内「続ける力」「主体性」「想像力」が上位を占める中「思いやり」が最も多く、必要性を感じます。
- ・「思いやり」は、資質・能力を考える際に「想像力」の中に入れて考えたのですが、言葉を見える化させた方が、意識しやすいのかもしれませんが。

【学校教育目標等に関する内容 問1～問6】

- ▲ 教育目標以外、資質・能力に関する5項目は全て8割未満であり、特に「続ける力」の評価が極端に低い結果でした。課題意識があるということです。教職員自身の評価では8割を超えていることから、子供たちへの指導はしているものの、期待している状態になっていないという評価なのでしょう。逆に子供たちは高い自己評価をしていることから、目指す姿（いわゆる評価基準）に「ずれ」があるのかもしれません。今一度子供たちと目指す姿を共有していく必要があると思います。「続ける力」以外の資質・能力に関しても同様に全ての教育活動を通して身に付けられるような指導を進めて参ります。

【学習に関する内容 問7～問8】

- ▲ 「学習内容がわかる」56%、「工夫して行う家庭学習」44%という低い結果でした。受け身になるような授業ではなく、子供たちが主体的に学び取ろうとする授業改善はもちろん、個に応じた「わかる」「できる」手立ても授業及び授業外で取り入れていく必要があると思います。また、意欲的に家庭学習に取り組むような手立てや学び続けたいと思えるような授業展開も必要です。与えられた課題に限らず、高学年に上がるにつれて自ら課題を選ぶ「自主学習」等を積極的に取り入れていきます。

【子供たちの生活等に関する内容 問8～問12】

- ▲ 生活リズム等への声かけは、学校でも引き続き声をかけていきますが、ご家庭との連携が何より必要ですので、家庭への啓発を中心に進めて参ります。
- ▲ 「あいさつ」や「人権意識」に関しても7割に満たない結果でした。6年生を中心に毎朝の「あいさつ運動」をしていますが、なかなか爽やかなあいさつが返ってくることが少ないのも実情です。あいさつをすることの必要性やあいさつをしたくなるような声かけをもっと増やしていきたいと思います。また、人権意識の低下は非常に危惧しているところです。温かい学校、自分たちで楽しくしていくといったことを目指すうえで、人権意識の高まりはなくてはならないものです。居場所づくりを進めるとともに、一人一人を大切にする学校づくりを今まで以上に行っていきます。

【地域とのつながりや連携に関する内容 問13～問14】

- 地域力活用については、学校運営協議会を核とした「防災熟議・防災実践」「ふれあいげんき祭り」「クリーン作戦」などが本校独自の取組としてカリキュラムに位置付けられていることから高い評価となっています。今後も地区協議会やげんき会等と連携を図り「地域とともに」の合言葉どおり20～30年後の地域を担う人材を育て参ります。

【教職員自身の取組に関する内容 問15～問19及び教職員自身の評価①～⑫】

- どの項目も高い結果となりました。人権尊重の精神を基盤に据えて全ての教育活動を全職員で取り組んでいることや年間を通じた人権学習・人権集会等の成果だと考えます。また、HPや学校だより、学級通信等において今後もできる限り子供たちの活躍の様子、保護者や地域の方々にお伝えしたいことが「伝わる」ようにしていきます。
- ▲ 「たくましさを身につけさせる取組」「生活リズムが身につく指導」「地域への愛着が身に付く取組」「働き方改革に向けた業務改善意識」がいずれも低い結果となりました。子供たちと向き合う時間を作り出すための業務改善意識を考えていく必要があります。



第2回学校運営協議会で5，6年生の子供も交えて学校評価結果について熟議をする様子